

那須町立田代友愛小学校

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
156	8 (内 特支2)	<input type="checkbox"/> 児童生徒の体力向上に向けてWEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひるば」使った取組 <input type="checkbox"/> 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組 <input type="checkbox"/> 体力づくりに関する家庭との連携 <input type="checkbox"/> 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

本校の児童は、新体力テストの結果を分析すると、体力合計点で全国平均を上回っている学年が多い。しかし、持久力の項目においては平均して全国と同等、もしくは平均以下となっている。持久走(長距離)は、老若男女問わず、自分のペースで生涯を通して行える種目である。学童期に自分のペースで走る楽しみを味わわせながら、持久力の向上を図っていききたい。また、学童期に運動することの楽しさを味わうことにより、自分の好きな種目を見つけたり、友達と協力して運動したりする力も同時に高めていきたい。

2 実施内容

(1)教材教具の工夫

- ・段ボールを使った授業

本校は多くの児童が運動部の活動やスポーツ少年団に所属して活動しているため、町の陸上大会でも総合準優勝を収めるなど、体力向上に伴って、運動面での成績も向上している。しかし、運動部の活動やスポーツ少年団に所属している児童とそうでない児童の能力差が大きいことが課題である。そこで、授業の中で各児童にあったレベルで運動できるよう段ボールを使った幅跳びやハードル走などを取り入れた。

(2)基礎体力向上に向けた取組

- ・業間を使った取組

2～3時間目のロング業間に「わんぱくタイム」を位置づけ、持久力向上の取組を行っている。校庭以外にも学校周辺の道路を走る外周コースを設け、教員を等間隔に配置することで安全に考慮しつつ、実施している。

(3)学校外における運動機会の増進に向けた取組

- ・体験活動の実施

本校は9月から11月にかけて、町陸上大会、校内持久走大会、町駅伝大会等、運動に関する行事が増える時期がある。その時期に合わせ、運動部の活動の体験期間を設けている。児童の運動への関心が高まる時期に行うことで、体力向上や運動する楽しみを知る児童が増えることを目的としている。

(4)ICT機器の活用

- ・ICTを使った自己分析

那須町では、児童一人一台、タブレットが貸与されている。体育時に友達の動きや自分の動きを撮影し、振り返ったり、参考にしたりして活用している。

3 主な成果

(1)について

- ・段ボールには様々な形状があり、向きを変えることで高さや幅を自由に変えることができる。児童のレベルに合わせ、コース設定することで、運動が苦手な児童も楽しんで活動する姿が見られた。
- ・コース設定やレベル分けを行ったことにより、次のレベルに挑戦しようという児童の姿が見られた。
- ・持ち運びやすい、風の強いときに砂を入れて動かないように重さが出せる、重ねてコンパクトにしまえるなど扱いやすいため、児童自身が準備や片づけをすることができた。

(2)について

- ・高学年は校外に出ることで走ることへの意欲の高まりがみられる。中学年に関しても、学校の周りを大きく走るコースを設定していることで同様の効果が得られている。また、児童同士で励まし合いながら活動する姿も見られ、仲間との関わりを通して運動の楽しさを学ぶ機会となった。

(3)について

- ・関心が高まる時期に合わせて体験活動を行うことで、運動部の活動に参加する児童が増え、日常的な運動機会の増進につながった。

(4)について

- ・動画で撮影して記録することで、何度も繰り返し細部を確認することができた。それを参考に運動することで技能が高まる児童もいた。

4 資料



(幅跳びの様子)

自分のレベルに合わせて、段ボールを置き換える姿が見られた。向きを変え、高くしたり、幅を変えたりすることができ、意欲的に活動した。



(ハードルの様子)

幅跳び同様、向きを変えてレベルを調節する姿が見られた。並べるのが大変なイメージだが、軽いため、子ども達が進んで準備や片付けを行う姿が見られた。



(ICTの活用)

友達の模範演技を撮影し、ポイントを書き出したり、映像を確認したりして、自分の活動に生かそうとすることができた。